

薬理学

No.	解答	解説	ページ
1	1		15L
2	1		15R
3	2	原因療法 → 予防療法	16R
4	1		22R
5	2	可逆的 → 非可逆的	26L
6	2	骨格筋 → 心筋	26R
7	2	伝達 → 伝導	27L
8	1		30R
9	1		32R
10	2	最大有効量の50%の用量 → 薬物を投与した一群の動物の50%において効果を発現する用量	33L
11	2	高い → 異常に低い	37R
12	2	イオン型 ⇔ 非イオン型	43L
13	1		45L
14	2	再吸収されない → 再吸収される	48L
15	1		50R
16	1		54L
17	2	アレルギー性 ⇔ 中毒性	57R
18	1		60R
19	2	不良 → 良好	64R
20	1		67R
21	2	増強 → 減弱	67R
22	2	SMO → CRO	69R
23	2	治験依頼者 → コントローラー	71R
24	1		75L
25	2		24R
26	1		25R
27	3		26L
28	3		28R
29	1		29L
30	1		33R
31	3		38L
32	2		40表1
33	3		46L
34	1		51L
35	2		56R
36	3		58L
37	3		65L
38	2		67R
39	2		70L
40	2		75R

薬理学

No.	解答	解説	ページ
41	2		
a	正		29L
b	正		29L
c	誤		
d	誤		
e	正		24R
42	5		
a	誤	減少 → 増強	18R
b	誤	広い → 狭い	33R
c	正		18R
d	正		62R
e	正		20表1
43	5		30L
a	誤	生合成 → 分解	
b	誤	抑制 → 示す	
c	誤	非可逆的 → 可逆的	
d	正		
e	正		
44	3		
a	正		36R
b	誤	速い → 持続する	37L
c	誤	多い → 少ない	37L
d	正		37L
e	正		37L
45	3		
a	誤	示す → 示さない	36R
b	正		41L
c	正		41R
d	誤	門脈を経ずに → 門脈を経由し	41R
e	誤	発現しない → 発現する	42L
46	2		41LR
a	正		
b	誤	i. p. → i. m.	
c	誤	i. m. → i. v.	
d	誤	i. v. → i. p.	
e	正		
47	5		
a	誤	輸送担体 → 薬物代謝酵素	46R
b	誤	増強する → 減弱する	47L
c	誤	低下させる → 高める	47LR
d	正		46R
e	正		48R

薬理学

No.	解答	解説	ページ
48	3		55R
1	誤	I型	
2	誤	II型	
3	正		
4	誤	III型	
5	誤	I型	
49	5		
a	誤	耐薬性は薬物動態の変化と生体側感受性の変化による	60L
b	誤	起こす → 起こさない	61L
c	誤	形成する → 形成しない	62L
d	正		60R
e	正		60L
50	1		69L